

評価結果概要表

【評価実施概要】

作成日 平成20年12月8日

事業所番号	2772401952	評価機関名	特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター
法人名	有限会社 ハル	所在地	大阪市東住吉区山坂5丁目5番14-103号
事業所名	グループホーム はる	評価調査日	平成 20 年 12 月 6 日
所在地	大阪府枚方市船橋本町2丁目85番地7番 電話 072-856-3021	評価確定日	平成 20 年 12 月 9 日

【情報提供票より】(平成20年11月23日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成15年5月1日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数 9人
職員数	9名 常勤 5人 非常勤 4人 常勤換算 5人

(2) 建物概要

建物の構造	軽量鉄骨造り 2階建ての(1階～2階部分)
-------	--------------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	42,000円	その他の経費(月額)	28,000円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金を含む)	有 200,000円 償却 原則としてなし			
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1400円	

(4) 利用者の概要(11月23日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名
要介護1	0名	要介護2	1名		
要介護3	3名	要介護4	3名		
要介護5	2名	要支援2	0名		
年齢 平均	87才	最低	81才	最高	97才

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人美杉会 佐藤病院
---------	--------------

【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

「心のバリアフリーを目指して」をホームの理念として掲げ、職員全員がこの理念の実現に励んでおり、本人はもとより、ご家族アンケートを見ても毎日の生活に安心しているのが伺える。利用者の中にはホーム開設以来の方も居られ、症状に格差も出来て来ているので、職員は、より一層の見守りと、医師、ご家族とも話し合いを重ね、適切な介護の日々であるように心掛けて努力している

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での主な改善課題は、近隣のグループホームとの交流であったが、運営者が枚方市内に昵懇な方が多く、他のグループホームとの交流もあり、情報の交換は出来ている
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者は適宜に、出勤した職員と何回か、現状を話し合い、改善案の検討を繰り返して自己評価票を作成している。又、利用者の個人ごとの看取りや、聞き取りの事実については、昨年からの職員全員にパソコン操作の指導を行い、全員が当日の情報を入力をしてから帰宅している。したがって職員は、利用者の介護に必要な情報を、洩れなく画面上で確認している
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み(関連項目:外部4、5、6)
	運営推進会議の主な討議内容は、ホームの行事も含めた活動報告と、委員の各種行事、広報資料等の紹介等の報告と話し合いで、充実した会議運営となっている
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7、8)
	ご家族とは来訪時に近況報告、診療報告等を詳しくしている。ご家族アンケートを見ても安心して頂いており、ご不満等は頂いていない。又、重度化された場合には本人、ご家族、医師等、関係者の相互の連絡を密にして対処している
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	運営者ご自身も、自治会に関して来られたので、地元の自治会とは従来通り交流している。更にホームの利用者も全員が会費を払い、自治会に加入している。又、中学校の社会体験の実習に毎年、数名の参加者を受け入れて利用者に喜ばれている

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
1 理念と共有					
1	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホームの理念「心のバリアフリーをめざして」を掲げ、利用者ごとに、気付きの対応を目指している		
2	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員に機会あるごとに理念の実行を伝えている		
2 地域との支えあい					
3	5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	運営者ご自身が所在地で長年、自治会活動に関ってきており、現在も続いている		
3 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者が、運営者の意向を踏まえ職員と各項目ごとに話し合いながら、自己評価票の記入に取り組んできた		
5	8	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月ごとに毎回、ホーム側の各種報告と、来訪関係者からの情報伝達をもとに、熱心な審議が行われ、改善に活用されている		
6	9	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市のご担当部署へは、毎月報告等を兼ねて赴いている		
4 理念を実践するための体制					
7	14	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	ご家族へは写真入りホーム便りに本人の近況報告を記入して、毎月お送りしている		
8	15	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議、来訪時にもご家族からのご不満は何っていない。ご意見、ご提案等あれば、すぐに対処している		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9 18	○ 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は開設以来、5年間に、1人のみでした		

5 人材の育成と支援

	10 19	○ 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月の定例会議は2回実施し、全職員が出席できるようにしている。外部の研修に費用(交通費共)は事業所負担として奨励している		
	11 20	○ 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている	少しずつ、他の事業所の方々と交流が進められている		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12 26	○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心して納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所して頂く際には本人、ご家族の意向、ご希望等を良く伺って、徐々に納得して頂けるよう工夫している		
--	-------	--	--	--	--

2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13 27	○ 本人と共に過ごし、支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者に寄り添い、気持ちに共感し合う関係を作っている		
--	-------	--	-------------------------------	--	--

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1 一人ひとりの把握

	14 33	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は、チームワークで一人ひとりの生活の中で把握した様子を、共有情報として集約している		
--	-------	---	---	--	--

	15 36	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	チームワークで、一人ひとりの課題についてはカンファレンスで共通情報として、新介護計画に反映させている。本人ご家族、関係者とも話し合い、新計画としている。一人ひとりの観察結果は職員が、パソコンに入力している	○	高齢化に伴う機能低下に役立つ各種メニューがないか、調査検討して実行して欲しい
--	-------	--	--	---	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	カンファレンスの結果で適宜、変化に対応する計画を作成し、本人、ご家族、その他関係者の方々とも協議して新計画としている		
3 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人、ご家族との要望に応じて適宜、ホームの持つ機能により支援をしている		
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	協力医療機関の医師による月1～2回の往診、歯科医師による往診も頂いている		
19	47	○ 重度化や週末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	状況によって主治医、ご家族と職員とでカンファレンスを行い、合意を得て方針を決めている		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1 その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	プライバシーの保護には十分に配慮し、職員にも機会あるごとに注意している		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎日一人ひとりの状況に合わせて介護に当たり、ホームの事情に合わせることはないよう配慮している		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ホームで食事を用意しているので、ご希望があれば対処している。食事への手伝いは体調に合わせて協力してもらっている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	<p>○ 入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		入浴は週2回、午前とし、午後は体力回復の時間としている。好みによって銭湯へお連れする方もある

(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

	24	59	<p>○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	○	幼児達との交流を検討し、実現して欲しい。1年ほど前に運営者は保育園の園児達と交流を図り、利用者が大変喜ばれたことをを思い、再度、そのような出会いが出来るように検討してください
	25	61	<p>○ 日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している</p>		希望には出来る限り外出するようにしている

(4) 安心と安全を支える支援

	26	66	<p>○ 鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		職員の目が届かない時には鍵掛けをしている、玄関にはチャイムを付けている
	27	71	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		年2回、職員による避難訓練を実施し、マニュアルも用意している

(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

	28	77	<p>○ 栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		体重、体調の変化を配慮して食品の量と形態を、適宜に変更している。事業所内の調理なので希望メニューには対応している
--	----	----	---	--	--

2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

(1) 居心地のよい環境づくり

	29	81	<p>○ 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		車椅子の方の移動に配慮して、共用室の家具配置を変更している。室内の飾りは季節感を出している
	30	83	<p>○ 居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		各個室は本人、ご家族の好みで自由に家具等を配置し、認識力の落ちて来た利用者には、ご家族と相談しながら対処している